

兵庫県のコルリクワガタは調査が不十分なこともあるが、北西部の鳥取県境付近と北部の日本海側に面した山岳地帯の一部からしか報告されていない。今回発見された笠形山からもっとも近いと思われる宍粟郡芳賀町赤西溪谷でも、直線距離で30km以上も離れている。この地域は兵庫県のみならず、近畿全体から見てもコルリクワガタ分布の空白地帯となっており、非常に興味深い発見となった。

笠形山は播磨富士と言われるようにほぼ独立峰といってよく、特異な植物分布を示す有名な山であるが、昔からの林業地帯でもあり、御多分に漏れず頂上付近まで植林されている。しかし、昆虫の調査はほとんどされておらず、植物同様に面白いものが発見される可能性が高い。蛇足ながら、この付近には鹿が多くあちこちと通り道と糞があり、姿を見ることもよくある。猟期には、コルリクワガタの材を割っていると、猟犬がのぞきに来ることもある。吠えられたことはないが、間違えてハンターに撃たれないよう派手な色の服装で採集を行うことを薦める。

来日岳でコルリクワガタを採集

永幡嘉之

城崎温泉の背後にそびえる来日岳（標高567m）でコルリクワガタ *Platycerus acuticollis* を採集しているので報告する。

1 ♀ 兵庫県城崎郡城崎町来日岳

25-XI-1992 永幡嘉之

山頂から北東にわずかに下った所のブナ・ミズナラ林の林床の朽ち木から得た。本種としては、かなり低標高の産地であると思われる。採集に際していろいろなアドバイスを頂いた谷角素彦氏に御礼申し上げる。

